夕刊 東北日日新聞

年中無休刊

本紙一ヶ月三十錢 郵稅二五錢 一部三錢
廣告料一行五〇錢 場所指定三〇錢增
發行兼編輯印刷人 石井孝
發行所 福島縣石城郡平町白銀町十番地 東北日日新聞社 電七二五

小名濱公益質庫 運轉資金に行惱む

漸く具体化したのを 金森部長が握りつぶし

石城郡小名濱町では縣の奬勵に基いて庶民金のため公益質屋を設置する事に昨年十一月に內定し運轉資金並に設備費として二万二千圓の低資を借り受ける事になり手續きをなし今年四月縣社會課では政府から右金額の貸付を受け社會課では地方課の起債認可をまつて轉貸をなす準備を整へてゐた折柄七月內閣が更てつし更らに緊縮の訓示を基いて地方課では右の起債を許可せぬ方針をとるに至つた茲に於て社會課では早く轉貸をしなければ處理上困るし尙は絕對起債不許可となれば低資は政府にそのまゝ返却することになるので弱つてゐる一方小名濱町では既に準備をなし町民も亦利率の安い公益質屋の開店を期待しゐる折柄この始末では大支障を來すので大騷ぎをなしてゐるために兩課では再三協議の結果二萬二千圓の中設備費は除き運轉資金として一萬七千圓の許可をなす事になり七月下旬主任屬の起債許可の發議をなし金森內務部長の許に提出したが部長は何故かこの書類を手許に保留し三ヶ月を經過した今日に至るも決裁をせぬのである庶民金融機會は一日おくるれば一日だけ損失を受けるに拘らず決裁を放任して置く縣の無理解と無責任の態度に町當局はあきれてゐるが或は又何かこの問題に就て爲にせんとする魂膽が藏されそのために起債認可を延ばしてゐるのではあるまいかとも思はれてゐる

不良な自動車 九十臺に達す

石双四署管內の車体檢査 十數臺は廢車の運命

平、四倉、植田、富岡署管內の自動車々体檢査は去る十一日より平町石城中學校庭に於て開催し二十二日午後四時終了したが檢査車体數は平署百七十臺、植田署四十八臺、四倉署二十四臺富岡署七臺、計二百四十九臺で車体の大部分は不良て極めて成績惡く赤札廢車又は修理を要するもの使用を禁じられたるものをはられたものは九十臺で其中近く當局からの命令で廢車となるものは十數臺に達するらしく尙ほ自發的に廢車するものが六臺位あるから如何に同管內が競爭激甚なるかゞうかゞはれるものである

內郷生れの 詐欺小僧

郡山署に逮捕さる

石城郡內郷村大字小島字川崎菅野武親（一八假名）は昨年五月東京市本所區向島福地ヨシ方に雇はれ中同家雇人今村三吉の衣類價格約三十五圓を窃取逃走し本年一月再び同家に至り住み込むと欺き前借八十圓を詐欺して逃走各地を流浪の末二十日郡山市內を徘徊中郡山署員に逮捕された

平町青訓査閲

平町青年訓練所查閱のため二十九聯隊稲美中佐は十二月一日來平する筈

郡下の稲かり 今が一番好適期

郡農會で早刈り奬勵

郡下に於ける稲作は大体好結果であるが稲刈りは今が一番適期で郡農會は早かり奬勵に努めてゐるが農家は慣習を守つておそかりをなすため粗惡な產米が多い殊に當地方は甚だしいおそがりをなす所で縣出張橋本農林技師は驚いて語る

此の適期にかり入れをなさぬと米の品質を惡くし收量が非常に減る副業用の藁までが品質が惡く結局收入は減る譯です成るべく早がりをなさしたいものです尚米質を高めるには乾そうですが小把にハセがけとし二十日間位乾せば良質なものになります

△櫻井氏講演會

平町青年團では來月十五六日ころ肉彈で有名な陸軍省新聞班長櫻井忠温氏を迎へて一大講演會を開催する筈である

常習者の 丁半賭博

格鬪し七名を捕縛

二十二日午後二時半頃平町梅香町煉瓦職工木田安五郎（四四）方で十數名のものが同家四方を開放ち見積番をつけて車座になり丁半賭博を開帳してゐるのを平署に探知され刑事私服警官が張り込み大格鬪の末七名を捕縛したが殘り數名は裏口壁を突き破つて逃走した現金かけの卜博としては近來の大もので捕縛された者は何れも卜博常習で平署に目星を打たれてゐたものでこれ

石城郡夏井村大字大越坂本春藏（四二）平町鎌田小林安太郎（五三）同土佐兼吉（三六）平町梅香町木田安五郎（四四）上遠野村字小藤高木成好（三二）外長久保馬之助、齋藤松衛

三郡各濱 豊漁

第二期漁穫高

本縣濱三郡における今年度第二期自五月乃至七月漁獲高は縣商工水産課の調査するところによると總數量二百四十二萬四千百七十八貫價格八十七萬千六百三十五圓であつたこれを前年同期に比較すると數量では六十一萬二千六百五十一貫を增加して近年にない豊漁を示したが金額では價格暴落で却つて十四萬九千二百五十一圓の減少を見たこれを郡別に見れば次の如くである

	數量	價格
石城	二〇五〇、〇七貫	七〇七、四九一圓
双葉	三三五、四三三	一二四、四四〇
相馬	四八、六七五	四九、七〇四

運轉手の不注意から 自動車事故二ツ

湯本町と小川村で 運轉手等は何れも無事

內郷村大勝自動車部所有乘合自動車を前記大勝某が運轉して二十二日午後十一時頃湯本町字關船地內國道を疾走中排水官埋沒の爲め工事中の堀割に落ち込み車体をメチャ〳〵に破壞したが幸ひ運てん手に異狀がなかつた尙ほ同日午後五時頃平町搔揚小路白土自動車部所有乘合自動車を運てん手鈴木某が運てんして小川村地內縣道を疾走中運てんを誤り道路より十尺下の田甫中に墜落したが自動車の一部を破損したのみで運てん手は無事であつた

△稲作品評會

平澤外八ヶ町村聯合稲作增收品評會は來る二十四日より三日間各町村役場に開催

人心劇

平自營會主催

平自營會主催の新派人心劇は來る三十日午後五時から平町聚樂館に開催する入場料大人三十錢小供十錢で社會教化劇として好評あり當日は七幕ものを上演する筈である

磐中生の 現在籍數

平町が第一位

縣立磐城中學校生徒の現在に於ける在簿數を聞くに總數一千百二十七名でこの內休學してゐるもの八名で入學以前の學歷は尋卒五八一高一卒三〇二、高二卒一四六其の他で通學生は平町二九八、內郷一一七、湯本七三、好間五一、赤井四一、草野三三、四倉三〇等で郡內三十四ヶ町村から三名以上就學してゐるが川前村はタッタ一名だけである其の外双葉郡三十八名縣外朝鮮等から四十九名であるが族籍を調べるに町人の子弟平民が一千十九名士族が百二名で皮肉な今昔の感を一層つのらせる

郡農會の 各種講習

江名と川前で

石城郡農會は各村が稲かりの初まる前を利用し種々の計畫をなしゐるが來る二十五日には江名町で養鷄講演會を開催し簡易な養鷄法を傳授し引續き各地で奬勵する十一月七八日は川前村に於てしゐ茸講習をなすが準備に忙殺されてゐる

磐崎村で 麥の講演會

石城郡磐崎村では來る二十八日午前十時より同村小學校に麥の講滿會を開くが講師は郡農會の大山技師

△妙見神社例祭

平町白銀町妙見神社の例祭は今二十三日執行するが御籤福運者には五目並べをなせしめ賞品を贈る筈

妻に歸國の說諭

石城郡川部村字山川梅二郎三女濱野マツ（二七）は六年前栃木縣足利郡北郷村の濱野源吉方に嫁入し二子實（四ツ）迄產んだのに拘らず去る十六日病身の夫源吉並に實を置いて家出したが實家に戻つておる形跡あるので源吉は廿三日平署に歸宅方の說諭方願出た

年期小僧 誘カイ？

平署に調査方依賴

磐崎村藤原三郎長男藤井政雄（一五）は埼玉縣川越郡染物業白妙庄左衛門方に去る二日前借金百圓で雇はれたが本月上旬無斷家出行衛を晦ましたので主人は誘かいさされたのではないかと非常に驚き八方搜索したが皆目判明せぬので若しやホームシックにかゝり實家におるのを實家でかくしてゐるのではないかと二十三日平署に調査方を依賴して來た

四倉町會

廿四日に開催

四倉町に於ける四年度後期戸數割賦課決定の町會は今廿四日同町役場に開催

塔中の怪（二）

無名氏

私は本當に不思議に感じたよ。何故かと云つて、此島の名稱は黒面島といふではないか。若し、名を實の賓とすれば、恐らく此の世の中、に此島ほど馬鹿な名をもつてゐるものはまたとあるまい。黒面島！何んと陰氣な、物淋しい様な名稱ではありませんか。それに、こんなまア美しい、華々しい町が、目前に現ばれやうとは、實に意外の又た意外である。

これには何か深いわけがあるだらうと小首を傾むけて居る時、丁度汽船の二等運轉手が煙筒の邊から此方へ、のそり〳〵と歩いて來たので、私は直ぐ其傍へ走りよつて問ひかけた。

『お早よう』二等運轉手さん。一何どうしたんでせうこんな眞白な島が黒面島たなんて。『え！』と二等連轉手は忽ち歩みをとゞめた、私の疑問の、あまりだしぬけなので、一時はびつくりしたが、忽ちカラ〳〵と笑つて。

『はッ、はッ、はッ、は、貴方は此島へ初めての御航海ですな。』と言ひつゝ、腰に下げたる双眼鏡をはづし、よく度合を計つて、私に渡した。

『これで御覽になればよく解ります。』

『え』何處を見るんですかと私は問ふた。

『あの山あ―のはるか〳〵の西方に當つて、どん〳〵と白い煙りをふき出してゐる一面の活火山がありませう、あの山の一端が海に突出してゐるところけづつた様な斷巖絶壁のいたゞきを御覽なさい。』と右手に指す其山の尖童を眺めたが私は驚いたよ今まで肉眼にはそれとも氣づかぬ程であつたが、よく見ると、其斷巖絶壁の頂きには、實に一個のふ思議な物があるのであるその形は丁度アラビヤ物語りにでもあり相な、妖女の面に似て、大巖石でもなければ、また山のこぶでもなく加ふるに其色の眞黒な事は實に驚かるゝばかりで、一見してゾットする程、其邊の光景が何んとなく殺氣をおびて物凄いこれでは成程、此島の名が黒面島と呼ぶのも無理がないと感じつゝ私は直ちに問ひかけた。

『一体あれは何んですか。』

あれこそ音に名高い黒面塔です、此島の名が黒面島と呼ばるゝのもそれから起つた事なんです。』え、え、あれが黒面たうで？と私は心からびつくりした。

かねて本國に居る時分ある物の本で讀んだ事があるそも〳〵此黒面島たうといふのは、其昔ある暴惡無道なる島の王が敵國のとりごまたは自分の意にさからふ臣下をば一生浮ぶ瀬のなき苦境に沈めんとて、幾多の星霜と、數知れぬ勞力とを費して造つたる一個の魔窟にて、此魔窟は人間世界の地獄と呼ばるゝ程不思議なる構造で一度王の怒りにふれて、此魔たうのうちに投込まれた者は如何なる手段をつくしても到底逃げだす事のかなはず、また苦るしみに堪えずして自殺を企てゝも自ら死ぬる事も能はず結局晝も夜もさまぐ〳〵の責め道具で責めて〳〵責め殺されて遂に骸骨となつてはじめて此たうの外に運び出さるゝとの事。

▽急募

十三四歳以上の印刷見習工三名至急募集す。優遇の方法あり委細面談

本社印刷部

◈松竹超大作◉オールスターキャスト幕末五剣録の一◇

昨画往來所戴
巨匠伊藤大輔…監督

一殺多生剣

忠次旅日記◉大岡政談等◉によつて時代映画監督の第一人者の位置を占めた巨匠伊藤大輔と名カメラマン唐澤弘光が熱血兒市川右太衛門を然して描く一幕末維新當時の武士階級と町人階級の暗闘此の一篇正に今秋磐陽映画界の一大収穫である……

剣兒市川右太衛門　主演
高堂國典　泉春子

土日曜學生慰安デー　中學生金十錢　小學生金五錢

◈廿四日より觀賞三味の逸品揃ひ◇

▲日活太秦高級作品▼
原作◉◉松本常男
監督◉◉佛生寺彌作

◇天保奇聞◇
直侍と丑松　全
楠英二郎
鳥羽陽之助　共演

芝居で有名な直侍と丑松御家人には楠英二郎暗闘の丑松には鳥羽陽之助高勢杉浦松柳吉野など美人の活躍

映寫順
1　直侍と丑松　七巻
2　百面相　十巻
3　一殺多生剣　十二巻

◇日活現代派超大作映画◆
原作…如月敏
監督…伊奈精一
我等が小杉勇　主演

江戸名戀悲曲情緒
百面相　全

うらぶれ滅びゆく大江戸の名殘り其の名殘りを獨り止めて淋しく泣く寄席藝人の涙……

助演者　梅村蓉子　常盤操子　其他

普通料金

平館

平町田町
高久病院
電話五一三番

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽清
藥劑士　佐竹菊雄

セビロ
オーバ
トンビ

中學
小學
通學服特賣

冬服揃ひ

通學服
マント
コート

正札堂洋服店
平驛前通り

株式　債券　現物賣買

駒場株式店
平町田町　電四六五
店主　駒場四郎

外科一般（入院隨意）
内臓外科専門
花柳病科
平町六丁目（橋際）

外科
木村醫院
電話三〇九番

冬の學生服

是非冬服もなかやで

コレならと自信を持てお奨め出來る生地裁縫共に申分ない黒小倉服です

小學生用（長ヅボン付）

號	用	價
一號	七八歳用	一圓八十錢
二號	八九歳用	二圓〇〇錢
三號	九十歳用	二圓二〇錢
四號	十一十二歳用	二圓四十錢
五號	十二十三歳用	二圓六〇錢

中學生用

號	用	價
六號	一二年生	四圓二十錢
七號	二三年生	四圓四十錢
八號	三四年生	四圓六十錢
九號	四五年生	四圓八十錢

◉各學校制定ボタン八十五錢高
中學外套も十月中旬より賣出します

平二丁目
なかや洋服店
電話二〇五番

平看護婦會
會長　清野キヨ
平字南町　電話三〇七番

◇看護婦派出の需めに應ず

◇特賣！

たひら正宗　福島縣清酒品評會一等賞受領
花春　同優等賞受領

鹽屋最上醬油釀造元
山崎合名會社
平町土橋　電話一〇番　二七番

東京支店
東京上野車坂四三
電話下谷五七一二番

淋病　消カチの妙藥

家傳

東京
峰岸淋丹
分舖
平町南町火の見下

一週間分金二圓七十錢　二週間金五圓　三週間金七圓
御申込次第密送す